

第4回 JSPP Web ディスカッション

みんなで考えよう! じっくり口腔機能を振り返る
「私のアプローチ これでよかったのかな?」
長期経過をみんなで共有

3歳未満で開咬症例の経過と その子どもたちは？



症例1 初診時1歳5か月(女児)



症例2 初診時2歳1か月(男児)

今回、話題提供することになりました佐世保市で開業している品川光春です。
このディスカッションは詳細に資料やデータを集めたハイレベルな症例報告
だけではなく、毎日行っている通常の診療における資料や素朴な疑問を提供し
てディスカッションに参加していくことも必要ではないかと考えています。

そのため私は不十分な資料と見識しかありませんが、会員誰もが参加し発信
していける一つの契機になればと思い、今回話題提供することにいたしました。

今回の症例は、3歳未満児に対して矯正治療ではなく口腔機能を改善していく
ことができるのかどうかについて私の過去の古い2症例を提示いたします。

調べていくうちに2症例ともその子どもたちも当院に来院していることが分
かり、親が以前口腔機能を改善していったことが、何らかの形で子どもたちに
影響を与えているのかも気になり、可能な範囲で検討してみたいと思います。

多くの皆様のご参加をよろしく願いいたします。

話題提供 品川光春先生 (佐世保市開業)